

プレトーク登壇者

弦楽器共演者

大崎 果歩 正教神学者

戸島 さや野 1stVn. 江頭 摩耶 Viola

山本 明尚 音楽学者

尾高 詩音里 2ndVn. 野村 友紀 Cello

# 薔

# 薇

# が

# 萎

# れる

# る

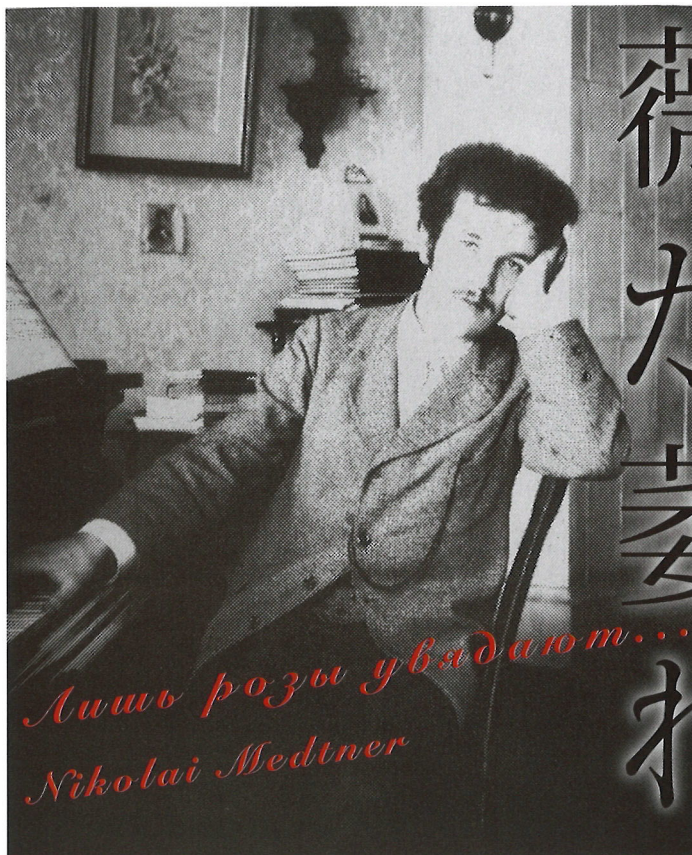
# 時

# に

ニコライ・メトネル生誕145周年に寄せて



Momo Saito



Аушь поэзы убадум...  
Nikolai Medtner

## 斎藤 もも

ピアニスト / 企画主催

2022年 第3回メトネル記念  
国際コンクール音楽評論部門特別賞

2025年 1月10日 金曜

開場	18時30分
プレトーク	18時45分
開演	19時15分

会場 電気文化会館 ザ・コンサートホール

演目 「薔薇が萎れる時に」 作品36-3 (シヤツケス編曲)

「夕べの歌」 作品38-6

「おとぎ話」 作品20-1 (ハイフェッツ編曲)

「眠れぬ夜」 作品37-1 (シヤツケス編曲)

「8つの心象風景」 作品1より 第4曲

「おとぎ話」 作品26-3

「ソナタIIエレジー」 作品11-2

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

第3番「エピカ」 作品57より 第3楽章

ピアノ五重奏曲 ハ長調 遺作


マネジメント/クラシック名古屋 052-678-5310

後援/愛知県立大学法人 愛知県立芸術大学  
愛知県立芸術大学音楽学部同窓会  
日本ユーラシア協会愛知県連合会

この演奏会は「(一財)後藤欣之輔・美智子 世の中に貢献する人を育てる協会」からの助成を得て行われます。この財団は、後藤欣之輔・美智子ご夫妻のご遺志に基づき、そのご浄財により、芸術、医療、科学等により世の中に貢献することを志した者の留学、研究等の支援、及び芸術、医療、科学等により世の中に貢献した者の榮譽を称え、さらに発展させるための支援を行うことを目的としています。

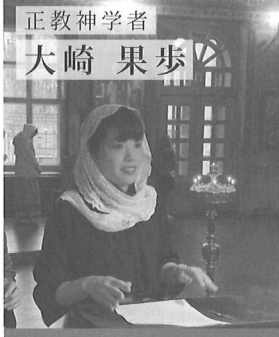


音楽学者  
**山本 明尚**



東京大学特任研究員(日本学術振興会特別研究員-PD)、東京藝術大学音楽学部楽理科教育研究助手。専門は20世紀初頭のロシア芸術音楽。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。これまでに安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞、大学院アカンサス賞を受賞。モスクワ音楽院ロシア音楽史学科に留学。2017-2020年日本学術振興会特別研究員(DC1)。2023年にロシア国立芸術学研究所音楽史専攻を、2024年に東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程をそれぞれ修了。2020-21年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。

正教神学者  
**大崎 果歩**



南山高等学校女子部、早稲田大学政治経済学部卒業。東京大学大学院人文社会系研究科にて、L.トルストイとロシア正教会についての研究で修士(文学)を取得後、同大学院博士課程満期退学。2017年よりモスクワの聖サーホン正教人文大学神学研究科博士課程で学ぶと同時に、正教聖歌・聖歌指揮両コースを修了。2018-2020年度日本学術振興会特別研究員(DC1)。2021年に日露青年交流センター若手研究者派遣事業日本人フェローとして再渡露し、正教会の教会スラヴ語祈禱書の和訳に関する研究を行う。現在、筑波大学ロシア語非常勤講師、研究員。

齋藤 もも

2022年 第3回メトネル記念国際  
コンクール音楽評論部門特別賞

ピアニスト  
企画主催



愛知県立芸術大学卒業、同大学院博士前期課程修了。その後更なる研鑽のためロシアに渡り、モスクワ音楽院大学院ピアノ科修了。2021年に日露青年交流センター〈若手研究者派遣事業〉日本人フェローとして再渡露し、2023年末まで同博士課程ロシア音楽史研究科に所属し研究活動を行う。2022年第3回メトネル記念国際コンクール(サンクトペテルブルク)音楽評論部門特別賞(論評1「N.メトネルの音楽哲学の語り手——ペテルブルクのピアニストK.ブルホフスキー＝ヴァシーリエフについて」、評論2「人間の魂の反映としてのメトネルのおとぎ話」)。ロシアやカザフスタンの国際学術会議において発表歴多数。演奏と音楽学研究の両分野で活動している。2024年度 前期 愛知県立芸術大学非常勤講師(特殊研究27作曲領域)。

20世紀ロシア・ピアノ  
音楽史に輝く巨星、メトネルの  
生誕145周年に寄せて

19世紀末から1920年代頃、ロシアでは文学、美術、演劇、バレエ、音楽などのあらゆる芸術が目覚ましく花開きました。「銀の時代」と呼ばれるその時期の真っ只中に、ニコライ・メトネル(1880-1951)はモスクワ音楽院を卒業。直ちにピアニストとして華々しくデビューし、母校でも教鞭を執りました。しかし、「芸術は神が人類に与えた最も貴重な才能のひとつである。その才能を受け取った者としての芸術家は、まず何よりも神に選ばれた下僕であり、それにふさわしい仕事や活動を行うべきである」という信条を持った彼が最終的に人生の主軸として選んだのは、作曲でした。

本公演では、着想から約45年の歳月を経て完成し「神に献呈した」という、いわば作曲家自身による音楽上の信仰告白である遺作のピアノ五重奏曲を中心に、さまざまな時期・ジャンルから抜粋した作品たちをアラカルトでご紹介いたします。聖書や文学作品などからインスピレーションを得て書き留められた音符の隙間からは、この世の自然の美しさや神秘、そして人間が持つあらゆる感情が揺れ動く様を聴き取ることができるでしょう。

近年メトネルの音楽は再評価が進み、世界中で急速に演奏機会が増加しています。わずかに年長の同胞芸術家であり、生涯を通じて友情関係を築いたセルゲイ・ラフマニノフはかつて、自身を認めてくれる場所を探しさすらうメトネルに対し「あなたの時代はやってくる。私はそれを確信している」と言いました。それから約100年の時を経た今私たちは、その言葉の真実性の証人となる喜びを与えられているのかもしれません。

弦楽器共演者

1st Vn.  
**戸島 さや野**



東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。フライブルク音楽大学ソリスト課程修了、ドイツ国家演奏家資格取得。シュポア国際コンクール最優秀現代曲演奏賞ほか受賞。横浜シフォニエッタメンバー。

2nd Vn.  
**尾高 詩音里**



愛知県立芸術大学卒業、同大学院研究科修了。桐朋オーケストラアカデミー修了。モスクワ音楽院、リゾナレ室内楽セミナー等国内外のマスタークラスで研鑽を積む。名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者。

Viola  
**江頭 摩耶**



愛知県立芸術大学卒業。桑原賞、中村桃子賞受賞。フィンランド国立シベリウスアカデミー修了。ラヂオ市響、ポルト・カサダムジカ響コンサートマスター等を務める。モザンビークにて毎年マプト国際音楽祭に出演し、現地で指導にも携わる。

Cello  
**野村 友紀**



京都市立芸術大学卒業後、カールスルーエ音楽大学(独)に進学し、最高点にて国家演奏家資格取得。演奏活動のほか、愛知県立芸術大学、名古屋市立菊里高等学校音楽科、椋山女学園大学非常勤講師を務める。

会場

**ザコンサートホール**  
名古屋・伏見・電気文化会館



460-0008

愛知県名古屋市中区栄二丁目2番5号

料金

全自由席

一般 3,500円

学生 2,000円

(税込)



アイチケット

0570-00-5310



芸文プレイガイド

052-972-0430

お問合せ

本公演については  
こちらまで



momosaito.com/  
contact/